

内側のページの答えを見る前に、聖書で最も良く知られている何人かの女性の抱えていた問題を考えましょう。



聖書に多く登場する女性たちが大変な生涯を送った、その中心の理由は何でしょうか？

8 なぜ戦争はツェルヤにとって問題となりましたか？

彼女の息子の一人アサエルは、ダビデとサウルの戦いの中で死にました(2サム2:18-23)。驚く事には、聖書の主な女性たちの中に、他に戦争で死んだ人が関わっている事は言及されていません。

7 なぜ夫婦で意見が一致しない事があるのですか？

どちらか一方、または両方における自己中心と信仰の欠けが、大抵その原因になります。しかしアハブとイゼベルのように、ある場合では、2人とも不信仰だったので一致がありました。

6 なぜ女性は仕事の問題があったのですか？

働く女性たちの姿は、かなりよく言及されていますが、彼女たちの仕事は問題として描かれていません。出産(創世3:16)や子育て(1テモ2:15)はしかし、いつの時代でも難しいことです。

5 なぜ不妊の問題は、ただ#5なのですか？

サラ、ハンナ、エリサベツの不妊の問題は良く知られています。また主が彼女たちを祝福して、それぞれに息子を与えられた事も。不妊の問題は、しばしば他の問題、特に一夫多妻制の問題と大きく関係しています。

4 なぜ外見の美しさは問題ですか？

中心の理由は、男性は昔も今も女性に対する欲望があるからです。聖書のトップ60人の女性のうち3人は、性的に暴行を受けました。しかしながら、シユラムの女の美しさは、肯定的に描かれています。

3 なぜ死は大きな問題だったのですか？

1コリント15章は、一般的に一番大きな悲しみの原因は、死であるけれども、それは永遠に続かない、と教えています。イエス様はこの事を、ヤイ口の娘を含む様々な女性たちを通して、明らかにされました。

2 なぜ多くの女性たちは迫害されたのですか？

エステルやマリアを含む多くの女性たちはその信仰の故に迫害されました。また他の女性たちは、ハンナのように、個人的な理由で迫害を受けました。感謝なことに、ルツは、迫害されずに、むしろ神様とその民に受け入れられました。

1 なぜ一夫多妻制と離婚は、一番の問題だったのですか？

神様がご計画された結婚のかたちは、一人の男性と一人の女性との間でなされるべきものでした。しかし今も昔も人の心は罪深く、主のみこころに反して、一夫多妻や離婚などがむしろ一般的になりましたが、それは明らかな誤りです(マルコ10:6-9)。

聖書に最も多く登場する60人の女性たちが直面した問題や困難のトップ10

#1

一夫多妻制 (離婚、拒絶)	
1.	サラ (創世記 16:1-16)
2.	エステル (エステル 2:12-19)
3.	ラケル (ヤコブの妻)
7.	レア (ヤコブの妻)
11.	アビガイル (ダビデの妻)
11.	バテ・シェバ (ウリヤの妻)
11.	ハガル (サラの女奴隷)
15.	ハンナ (1サム1:1-2:11)
19.	レビ人の側女 (士師19)
21.	タマル (ダビデの娘)
22.	ミカル (ダビデの妻)
34.	ビルハ (ラケルの女奴隷)
34.	サマリアの女
34.	ジルパ (レアの女奴隷)
37.	サムソンの妻 (士師15:1-8)
38.	王妃ワシュティ (エステル2:1-4)
41.	ヘロディア (マタイ14:3)
46.	マアカ (レハブアムの妻)
46.	ファラオの娘 (王)
51a	アヒノアム (ダビデの妻)

旧約聖書の中には、一夫多妻制の問題と、そこから来る悲しみが多く見られます。しかし新約聖書には、離婚や再婚の事がより多く見られます。これらは同じような問題と言えるでしょう。

#2

迫害 (偏見)	
2.	エステル (エステル 4:1-17)
4.	マリア (マタイ 2:13-15)
8.	ルツ (ルツ 2:10-13)
11.	ハガル (創世記 16:4-6)
15.	ハンナ (1サム 1:6-7)
22.	ミリアム (エジプトで)
27.	エリサベツ (ルカ 1:24-25)
30.	長血の女
34.	サマリアの女
46.	ヤエル (士師 5:24)
50.	モーセの母 (エジプトで)
51e	ヘブル人の助産婦 (エジプト)
51h	プリスキラ (使徒18:2)
51i	シドンのやもめ (ルカ4:25-26)

神の民は、常に迫害されてきました。さらに、女性には個人的な迫害や偏見も多くありました。

#3

家族の死 (病気)	
2.	エステル (両親、エステル2:5-7)
3.	ラケル (創世記35:16-20)
8.	ルツ (彼女の最初の夫)
9.	ナオミ (夫と息子たち)
11.	アビガイル (最初の夫)
11.	バテ・シェバ (最初の息子)
22.	ミリアム (民数12:1-15)
27.	ヤイロの娘
27.	シュナムの裕福な女
30.	長血の女
32.	マルタ (ラザロの死)
32.	マリア (ラザロの死)
51i	シドンのやもめ (彼女の息子)

死がもたらす悲しみは大きなものですが、死からの勝利もあります。

#4

情欲、美 (性的暴行)	
1.	サラ (創世記12:11-20)
2.	エステル (エステル2:7-9, 7:8)
5.	リベカ (創世記26:7)
6.	シュラムの女 (雅歌2:7)
11.	バテ・シェバ (2サム11:2)
19.	ディナ (創世記34:1-4)
19.	レビ人の側女 (士師19)
21.	タマル (2サム13:11-22)
41.	ラハブ (ヨシュア2:1)
38.	サムソンの妻 (士師14:1-4)
51b	コズビ (民数25章)
51d	デリラ (士師16:4)
51j	見知らぬ女 (箴言)

外見の美しさは時に大きな祝福となりますが(エステル)、多くの場合そうとはなりません。

Why?



なぜ、ある問題は他のものよりも多く起こるのでしょうか。

#5

不妊 (子孫がない)	
1.	サラ (創世記16:1,ヘブル11:11)
3.	ラケル (創世記30:1, 22)
5.	リベカ (創世記25:21)
8.	ルツ (ルツ3:1, 4:14)
9.	ナオミ (ルツ3:1, 4:14)
15.	ハンナ (1サム1:2-18)
18.	サムソンの母 (士師13:2-3)
21.	タマル (2サム13:20)
22.	ミカル (2サム6:23)
25.	タマル (創世記) (創世記38章)
27.	エリサベツ (ルカ1:7, 36)
51f	ロトの娘(たち) (創世記17:31)

聖書に最も多く出てくる女性たちのうち、何人かは長年の間、不妊の問題を抱えていました。ある女性たちは他の理由で、子どもがいませんでした。

#6

仕事 (家事など) (他の仕事)	
5.	リベカ (創世記24:20, 27:17)
6.	シュラムの女 (雅歌1:6)
8.	ルツ (ルツ2:2-23)
10.	エバ (創世記3:16, 1テモテ2:15)
11.	アビガイル (1サム25:14-20)
15.	ハンナ (1サム1:22-23, 2:19)
22.	テコアの賢い女 (2サム14:2)
32.	マルタ (ルカ10:38-42)
34.	サマリアの女 (ヨハネ4:7)
37.	箴言31章のしっかりした妻
45.	アビシャク (1列王1:15)
51h	プリスキラ (使徒18:3, 1コリ16:19)

注意：聖書の中の女性の仕事は、多くの場合、問題とはされていません。それは祝福でもあったのです。

#7

意見の不一致 (夫 / パートナー)	
1.	サラ (創世記21:8-14)
3.	ラケル (創世記30:1-2)
5.	リベカ (ヤコブとエサウに関して)
6.	シュラムの女 (雅歌5:2-6:3)
10.	エバ (創世記3:12-13,16)
11.	アビガイル (1サム25:14-19)
22.	ミカル (2サム6:16-23)
37.	サムソンの妻 (士師14:16)
37.	王妃ワシュティ (エステル1:10-12)
41.	ヘロディア (バプテスマのヨハネ)
51d	デリラ (士師16:4-21)

夫と妻の不一致は、アダムとエバから始まりました。ミカルとダビデの間の問題は、2人がどれだけ違っていたかを見えています。

#8

戦争 (捕囚)	
2.	エステル (エステル2:5-7)
11.	アビガイル (1サム30:1-20)
14.	ツェルヤ (2サム2:18)
19.	ディナ (創世記34:25-31)
19.	レビ人の側女 (士師20)
37.	サムソンの妻 (士師15:6)
41.	ラハブ (ヨシュア2章、6章)
43.	デボラ (士師4章、5章)
46.	ヤエル (士師4:9-22, 5:24-27)
51a	アヒノアム (1サム30:1-20)
51c	ダビデの母 (1サム22:3-4)

戦争や戦いはいつも問題ですが、それによってラハブには救いがもたらされました。

#9 偶像崇拜 (貪欲)

#10 飢饉とそのための移動